

びわ湖トラスト親子環境学習講座

～びわ湖源流の森観察会 秋～ 報告書



認定NPO法人 びわ湖トラスト

- 実施日 : 2022年11月5日(土)
 後援 : 大津市教育委員会、巨木と水源の郷をまもる会
 協賛 : 公益財団法人 平和堂財団
 参加者 : 6組 16名(大人:9名・子供:7名)
 欠席 3組6名
 スタッフ: 【ガイド・講師】巨木と水源の郷をまもる会 4名
 【スタッフ】トラスト 4名

※ 本年度も新型コロナウイルス感染症対策として、定員を減らして実施。

行程

- 8:00 大津駅発
 8:25 JRおごと温泉駅発
 9:35 山帰来着
 オリエンテーション
 11:30 昼食
 12:00 下山・山帰来着
 とち餅試食・講義
 15:00 解散、バス・家用車で帰路へ



2022年のびわ湖トラスト親子環境学習講座、最後の講座が実施されました。

急な気温の影響もあってか、体調不良などの理由で欠席の方もいらっしゃいましたが、一度参加して楽しかったので再び参加下さった方もいらっしゃいました。

バス組は大津駅からの出発。道路は例年より山道での車が多い気がしましたが、時間通り山帰りに到着。自家用車で参加組と合流し、全員集合してからオリエンテーションと準備体操をしてから登山開始。



今回は巨木と水源の郷を守る会の方が開拓された新しいコース。登り初めはかなり急でしたが、あらかじめ道を作ってくださっていたおかげで、安全に上ることが出来ました。

時々立ち止まり、

- ・ヒノキ・杉・あすなろ・ゆずりは・桂などの木々
- ・キャラメルのような甘い匂いのする鷹の爪の葉（三つ葉）
- ・天ぷらは鷹の爪の葉よりももっとおいしいというこしあぶら（五つ葉）

など、山で食べられる天然の植物のおいしい話や、

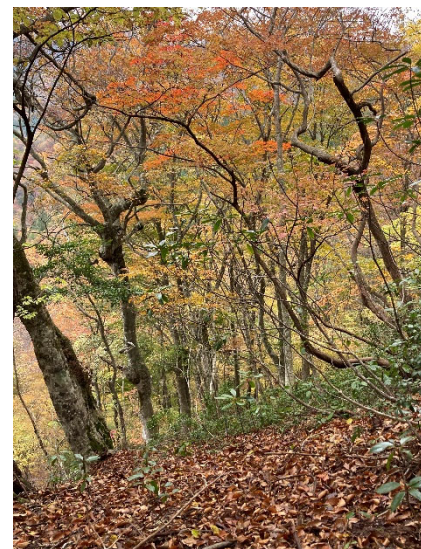
- ・木の皮がはがれている理由
- ・鹿・イノシシの寝床の違い

についても教えていただきました。



11時半頃にお昼を食べ、天気予報では13時過ぎから雨の予報だったので、12時過ぎには下山開始。落ち葉の積もった道はフカフカですが、滑りやすいので、木につかまったり、足場をしっかりと確保して慎重に降りました。雨が心配でしたが、木々が生い茂っていることもあり、ほとんど濡れずに済みました。

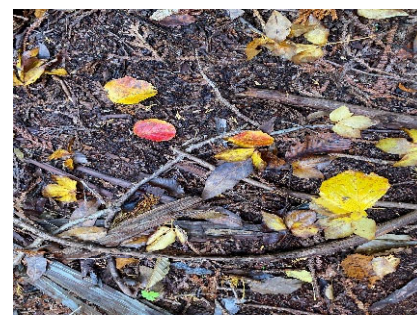




途中、木々の間から遠くに見える山の紅葉も楽しむことが出来ました。他にもヤドリギの芽が出たばかりのものがあったり、台風などの暴風雨の影響で折れてしまったと思われる木もありました。

山の中を歩いていると、人間が計画して建てた杉やヒノキばかりの場所よりも、色々な樹木が混在している場所の方が温かみや豊かさを感じます。しかし途中、木々の間に残っている低木はほとんどアセビ（馬酔木）でした。この木はシカが食べない木だそうです。シカは毎年子供を産むので、どんどん増え、今では多過ぎるくらいだそうです。

しかし、この周辺の方の老齢化が進んで狩りをする人が減り、後継者も増えないため、またシカが増える心配があり、増えすぎると、せっかく育ち始めた若木が食べられる心配があり、シカが食べ残した植物しか育たない偏った種類の気だけが育つ森になる恐れがあります。それを防ぐため、巨木と水源の郷を守る会の方々は若木が鹿の被害に合わないような工夫をされていました。



13時過ぎ、登り始めた場所から少しはなれた場所に到着しました、昔は田んぼだったぬかるみを過ぎ、ススキの生い茂る場所からお地蔵様の横を通って山帰来に向かいました。雨の降る気配はなく、むしろ山にいた時よりもきれいに晴れていました。山帰来で待機していたスタッフの話では、雨が降っていたこともあったらしく、濡れた登山者が薪ストーブで暖を取ったり、服を乾かしている様子を見かけたそうです。



山帰来に戻って少し休憩した後は、山で学んだことの復習と、トチ餅の作り方について教えていただきました。山で実を拾った後に、大変な手間をかけて食べることを聞いた後、トチ餅をあんこときな粉両方のせで食べました。独特の癖があるので少々苦手な場合もあるのですが、去年とは少し作り方を換え、餅の周りの餅粉の分量をできるだけ少なくしたと聞いたのですが、渋みがかかなり少なくなり、とても柔らかくてよく伸びるお餅になっていました。トチ餅を毎年のようにいただいておりますが、今日が一番甘く、そして柔らかく感じました。よほど気に入ったのか、何度もお替わりする子もいました。

